

里親シンポジウム

このシンポジウムが里親を知るきっかけになり、一人でも多くの里親登録につながると共に、里親になるのは難しくても、地域社会で里親家庭や社会的養護が必要な子どもを支える一歩になればと思います。

どうぞ皆様、お誘い合わせの上ご参加ください。

日程：2016年10月8日(土)
13:30~16:15

会場：玉城町 保健福祉会館ふれあいホール

内容

・講演
「今、なぜ社会的養護が必要なのか
～研究者の立場から～」

講師 長野大学社会福祉学部准教授 上鹿渡和宏さん

・パネルディスカッション

「あなたに今知って欲しい。里親という家族のかたち」
パネリスト 里親・里親支援専門相談員・三重県知事
コーディネーター 上鹿渡和宏さん

氏郷まつり

2016年11月3日(祝)に開催される氏郷まつりにて、毎年恒例の不用品バザーを行います。

10月27日(木)から事務所にて、不用品を集めますので、ご自宅にある不用品をご持参ください。

ご協力お願い致します。

食品類・衣類はご遠慮下さい。

●チャイルドラインMIE

(きいてほしいな...) 子どもの心を受け止める

18歳までの子ども専用電話

0120-99-7777

毎週 月曜日～土曜日

午後4:00～午後9:00

●こどもほっとダイヤル

(たすけて!も言える) 子どもだけが相談できる

18歳未満の子どものための相談電話

0800-200-2555

毎日 午後1:00～午後9:00

(12月29日～1月3日はお休み)

おしらせ

●闇忍者

日時：2016年10月15日(土)

集合時間：17:45

解散時間：20:15

場所：松阪城公園およびその周辺

対象年齢：小学5・6年生

集合場所：殿町中学校 武道館

参加費：1500円

●まちをあそぶ

日時：2016年10月16日(日)

集合時間：13:45

解散時間：16:15

場所：松阪市中心商店街

対象年齢：小学1年～4年生

集合場所：松阪市市民活動センター
大会議室

参加費：1500円



Autumn NO.195

2016年10月1日

発行元：特定非営利活動法人
松阪子どもNPOセンター

北島尚志さん講演会「まちをあそぶ」

日時 7月24日(日) 13:30~15:30

場所 松阪市市民活動センター 大会議室

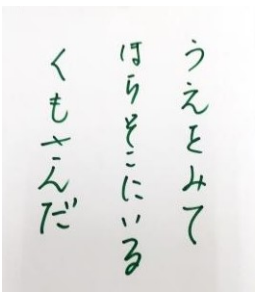
参加者 37名

講演会の中で北島さんは「まちをあそぶ」とは、町の文化や歴史、住んでいる人々とのかかわりの中で遊び、遊びを通して子どもが育つことだと言われました。

子どもの遊び心に響感(心と心が響きあう)するとは、どういうことなのかを体感するためのワークショップでは、今日初めて出会った人たちとコミュニケーションをとりながら、会場だったカリヨンビルの1階から3階までを使って遊びました。



1チーム4人で2人ずつ2組にわかれスマホで写真を撮り、それに5・7・5のリズムある言葉を紙に書きだしました。その言葉から連想して、残った2人がその写真を撮りに行くという遊びでした。例えば、「うえをみて ほらそこにいる くもさんだ」とあれば、クモの巣か空に浮かぶ雲かを五感をフルに働かせて、「こちらかな?」とか「これかな?」などと言いながら探っていくというものでした。ワクワクしながら遊び心がはじけた瞬間でした。心も体も柔軟にして10月15日・16日に行う「まちをあそぶ」では、子どもと一緒に修行をします。



子どものためのシェイクスピア「オセロー」と「電車でGO」

日時 8月6日(土) 開演17:30 終演19:30

場所 三重県総合文化センター 中ホール

参加者 81名(松阪) 「電車でGO」参加小学生 12名



毎年、大人も子どもも同じ空間で一緒に楽しめる演劇。また、親子で楽しめる舞台芸術体験として開催している「子どものためのシェイクスピア」今回はシェイクスピア四大悲劇の「オセロー」を観劇しました。松阪からも、例年通り沢山の参加がありました。

「オセロー」が上演されるのにあわせて、子どもだけで体験する観劇ツアー「電車でGO」を企画しました。切符を買うのは初めてという子も多くて、初めて顔を合わせるメンバーに最初は緊張の面持ちでした。それでも、電車とバスを乗り継いで県立図書館に着くころには、だんだんうちとけてきた様子でした。

図書館では、2階から地下書庫までいろいろな場所を案内していただきました。普段は外から見ている休日返却ポストの裏側では、本が傷まないように敷かれているマットを順に触らせてもらい、バックヤードツアーには前に参加したことがあると言っていた子も「触ったことはなかった」とまた違った体験を喜んでいました。

その後、劇が始まるまでロビーで遊びコーナーや買い物を楽しみました。その頃にはみんな仲良くなったグループで行動し、さらにグループ同士も一緒になって笑顔満開。「オセローで大人にボロ勝ちした」「射的サイコー!」「おみやげも買ったよ」とロクに話していま



約2時間の観劇を終えて駅に着きましたが、帰りは言われる前から整理券を取ったりお金を準備したり、手順もすっかり覚えたようで余裕です。別れ際、何が楽しかったか聞くと、「全部!」と答えてくれた言葉と晴れやかな顔が、充実した一日を物語っていました。

【上記のお問い合わせ・お申し込み先】

特定非営利活動法人 松阪子どもNPOセンター TEL0598-20-8344 FAX0598-20-8345

くわしくはホームページで! [松阪子どもNPOセンター](#) [検索](#)

●この会に賛同し、会を支えてくださる個人・団体の方を募集しています●

個人正会員・参加会員：年8,400円 賛助団体会員：年1口10,000円 支援会員：年1口3,000円
※入会金：300円

8月末会員数 正会員：27名 参加会員：6名 支援会員：87名 賛助団体会員：25団体

【賛助団体会員】		
医療法人 イワサ小児科	医療法人 桜木記念病院	東海印刷株式会社
うれしの 太田クリニック	株式会社 ジェントリー	東海シール株式会社
大久保クリニック	上瀬クリニック	ナガフジ産業株式会社
おおたクリニック	医療法人 たるみ内科胃腸科	はせがわこどもクリニック
岡田パッケージ株式会社	医療法人 地主矯正歯科クリニック	健康体操 ひまわり会
医療法人 河合産婦人科	鎮守の森を夢見る会・その二	株式会社 富士土地
		株式会社 フレンズ
		ミスタードーナツ・松燈庵
		松阪市健康体操連絡協議会
		まんのう整形外科
		医療法人 南産婦人科
		医療法人社団 鷺尾小児科
		他一団体

特定非営利活動法人 松阪子どもNPOセンター

〒515-0084 松阪市日野町788 カリヨンプラザ1F (開所日・時間 月～金10:00～17:00)

TEL 0598-20-8344 FAX 0598-20-8345 ホームページ <http://www.mknpo.jp/> eメール info@mknpo.jp

こどもこそミライ



映画「こどもこそミライ～まだ見ぬ保育の世界～」より

チャイルドラインチャリティ映画会として今年は「こどもこそミライ」に取り組みます。
皆さんは、この題名から何を連想するでしょうか。本当に子どもたちはキラキラしたミライに向かって生きているでしょうか。子どもと関わる様々な活動のなかで、大人が望むいい子を演じ続けるうちに、自分の気持ちをおさえ自分の気持ちがわからなくなっている子どもがたくさん見られます。「ありのままのあなたでいい。」と口では言っている、「でもね…」と価値観を押しつけている事さえ気が付かない大人。子どもが持っている力を信じて子どもが子どもらしくあるために、大人がすべきことを一緒に考える機会にしたいと思います。



子どもの力を信じて

私たちは、子どもが“自分で考え自分で決める”ことを待つことができるでしょうか。
私は、子どもが木登りをしているときに、「ここに足をかけて登ってみたら?」「こっちの木のほうが登りやすいんじゃない?」などと声をかけて、「うるさい!自分でするから待って!」と子どもに言われたことがあります。私自身がこの子に“これはできるだろうからしてほしい”と思っていることに気づきました。子どもは私が期待したほどには登れませんでした、「見て!こんなとこまで登ったで!」と、満足そうな笑顔を見せてくれました。子どもは、周囲に何も言われなければ、どうすればいいのかを自分で考えます。どんな結果も評価するのではなく、子どもの力を信じて待つことが大切だと思います。

私と主体

人との関係の中で何かを決める時、人に合わせてしまったり、残ったものでいいと思ったりしがちです。自分で選び取る力がないといってしまうかもしれませんが、責任という観点から見ると、主体がないということは無責任な態度になります。主体を侵されてもあまり気がつかないことが多くあります。それは、相手の主体を侵していても気づかないことと同じです。

前に遊びの中で忍者参上!をしたときの事。子どもたちと遊びあったとき、黒忍者の後ろ姿をちらっと見た私はその事を共有せず、子どもの意見を聞かず、自分の思う正しい方へと誘導してしまいました。子どもの力を信じ、対等にと思いながら、実際の行動は、失敗をしてもいいとなかなか思えない自分が表面にでてきた結果だと感じます。子どもの遊び心に対等に柔軟に向き合うことの大切さと難しさを体験した出来事でした。



映画「こどもこそミライ～まだ見ぬ保育の世界～」より

チャイルドラインチャリティ映画会「こどもこそミライ」

この映画は、3つの園での子どもたちの日常を追ったドキュメンタリー映画です。横浜にある「りんごの木」では、その日に園でおこったさまざまな出来事をテーマに子どもたちが自分の言葉で話し合います。「森のようちえんピッコロ」は、山梨の森の中にあります。子どもたちは一日中、自然のふところに抱かれて全力を出しきって遊んでいます。大阪の「保育所聖愛園」はハンディのある子もない子もみんな育て合う保育を実践しています。この映画をとらえて、「子どもが主体である」とはどういうことかを考えたいと思います。

日時：2016年12月7日(水)
① 10:30～12:00
② 13:30～15:00
③ 19:00～20:30
①の時間は託児あり
①②の時間はママさんタイム上映です。
(未就学の子どもと一緒に入場できます。)

会場：農業屋コミュニティ文化センター(松阪市川井町690-1)
参加費：大人1000円(当日1500円)
子ども(小学生～18才)700円(当日1000円)
託児：1人500円(要申込み)

【主催・お問合せ・お申込み先】
特定非営利活動法人松阪子どもNPOセンター
【共催】松阪市
【後援】明和町、多気町、大台町、
松阪市教育委員会、明和町教育委員会、多気町教育委員会、大台町教育委員会
(一部申請中)

